

前校長・小野敏夫先生の

ご退職をお祝いする会



六月二十八日(火)、柏崎市にある割烹三井田におきまして新潟産業大学附属高等学校前校長、小野敏夫先生のご退職をお祝いする宴が催されました。美味しいお食事と共に小野先生を囲みながら、懐かしい思い出話に花を咲かせました。ご退職の記念品として、小野先生にループタイをお贈りし、盛大な宴となりました。

「産大の公立化」を目指して

七月十二日(火)、柏専学院より北原学長、廣川理事長をお招きし、PTA、同窓会、後援会、巻口校長で、新潟産業大学の公立化について意見を出し合う場が設けられました。今後も情報を共有し、話し合いの場を設ける予定です。



進路状況

日頃より、本校の教育活動にご支援とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。本校では「部活で燃えろ!進路で輝け!」を合言葉に、教職員一丸となって大学進学プログラム(特別進学講座)や小論文指導をはじめとする進路指導に力を入れております。

さて平成28年3月、124名の生徒が本校を巣立ちました。進路決定先は、4年制大学70名(56.5%)、短期大学12名(9.7%)、専修学校・各種学校等22名(17.7%)、就職20名(16.1%)で、進学志望者の進学率と就職希望者の内定率はともに100%を達成しました。

①平成27年度に合格した4年制大学・短期大学・専修学校等は次のとおりです。

【国公立大学・短期大学】

新潟大学、大月短期大学

【私立大学・短期大学】

新潟産業大学17名、国土館大学5名、日本大学3名、城西大学3名、駿河台大学3名、新潟工科大学2名、大妻女子大学2名、東京福祉大学2名、十文字学園女子大学2名、上武大学2名、岐阜経済大学2名、長野大学2名、新潟経営大学、新潟リハビリテーション大学駒澤大学、玉川大学、東海大学、帝京大学、大正大学、桜美林大学、関東学院大学、金沢工業大学、福井工業大学、城西国際大学、中央学院大学、共愛学園前橋国際大学、静岡産業大学、東京国際大学、東京聖栄大学、大阪成蹊大学、高岡法科大学、金沢学院大学、国際武道大学、朝日大学、BLEA大学部星槎大学、Southville International School and Colleges、新潟工業短期大学3名、明和学園短期大学2名、新潟中央短期大学、上田女子短期大学、埼玉女子短期大、関東短期大学、小松短期大学、聖徳大学短期大学部

【専修学校(各種学校等を含む)】

北里大学保健衛生専門学校2名、新潟調理師専門学校2名、厚生連新潟中央看護学校、長岡看護福祉専門学校、長岡医療福祉専門学校、長岡こども福祉カレッジ、長岡クレアモード専門学校、悠久山栄養調理専門学校、新潟医療技術専門学校、新潟医療福祉カレッジ専門学校、新潟工科大学専門学校、国際エンターテインメント専門学校、国際トータルファッション専門学校、育英メディカル専門学校、昭和医療技術専門学校、窪田理容美容専門学校、東京IT会計法律専門学校、上越公務員情報ビジネス専門学校、新潟県農業大学校、上越テクノスクール

②平成27年度に内定した公務員・一般企業は次のとおりです。

【公務員】

陸上自衛隊3名

【一般企業】

株式会社石塚組2名、株式会社竹田工務店2名、株式会社ブルボン、株式会社サイカワ、兼松コミュニケーションズ株式会社ドコモショップ柏崎、電気化学工業株式会社青海工場、第一化成株式会社、高浜観光開発株式会社柏崎カントリークラブ、名鉄運輸株式会社、大昭電設株式会社、丸高建設株式会社、株式会社カメラショップユザワ、株式会社デイリーはやしや新潟越路工場、株式会社俺カンパニー、有限会社シミズ



『創立六十周年にむけて』のご挨拶

同窓会会長 黒川直人

同窓会会員の皆様には『益々元氣』にそれぞれの地域や場所、場面で大切な役割を通じて重責を担いながらも、充実した毎日で御活躍のことと思います。

平素は同窓会の行事に御協力、御理解を頂き、同窓会役員全員を代表いたしまして御礼申し上げます。

さて、皆様の母校も昭和三十二年に開校し、創立五十周年を節目に早いもので平成二十九年には『創立六十周年』を迎えます。迎えるにあたり、会員の皆様もご承知の通り我が母校は長い歴史の中で私立高校としての特性を生かし、素晴らしい学園として発展し続けるべく、教育環境の整備を進めてまいります。私達それぞれが一回しか経験できない思い出の多い学園生活を過ごした母校の同窓会に御支援・御協力をなにとぞお願い申し上げます。

また、開校以来同窓会も八千余名を数え会員の皆様は地元柏崎をはじめ県内外はもとより、海外でも活躍されております。

組織としては同窓会の支部として県内に四支部、関東圏に一支部あり、特に関東支部は活動が盛んです。中国の音楽鑑賞やデイズニールンドでの食事会と東京観光、また昨年度は

発行  
新潟産業大学附属  
高等学校同窓会  
事務局  
〒945-1397  
柏崎市大字安田2510-2  
Tel.0257-24-6644  
Fax.0257-24-0386



ごあいさつ

私は、四月一日に新潟産業大学附属高等学校校長として着任いたしました。同窓会の会員の皆様には、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

着任した四月当初は、学校までの通勤路が二年前まで勤務していた学校の通勤コースで懐かしく思いながら車を走らせていました。普段のありふれたさまざまな光景を見て、新しい発見や認識を新たにすることが沢山ありました。それは、入学したばかりの小学一年生を、上級生がやさしく囲んで通学する無邪気な笑顔やバックを担ぎ、エコ活動の実践としてランニングで通勤している方々の姿。また、尾根の曲線美を持ち、残雪が残る見慣れた米峰米山の美しさなどを見る中で、改めて気づいたことは、人は先を急ぎ、効率と結果だけを求める日々を送り、自分の喜びや心の隅にある思いを忘れていくということです。小さなものだろうがとても大切なものです。

本校に着任したときの生徒の皆さんの印象は「生徒は素直であいさつがよく、制服をきれいに着こなしている」と好印象でした。今もこの印象はあり、よい生徒のみなさんに出会い、うれしく思っています。

若いときに中国の古典の言葉で、「蓬 麻中に生ずれば 扶(たす)けずして 自ら直し」(まっすぐに伸びる麻の中に生えれば、曲がりやすいヨモギも自然にまっすぐ伸びるを)教授いただきました。子どもころ、ヨモギのような性格だった私も生徒の時代は、多くの麻の友達や先生方にふれ大きく成長でき、強い絆で結ばれた現在があります。

あとがき

「友垣」とは、友達のことをいい、人と人との交わりを、垣をしっかりと結ぶことに例えていった言葉です。残念なことに、世界各国ではテロの頻発や経済的な不況が発生しています。日本全国でも、いつ何が起こるかが全くわからない時代になりました。嬉しい出来事や悲しい出来事、様々なことが日本中で起きています。そんな中、何かあったとき助けてくれたり、思いを共有してくれるのは、家族はもちろん、身近な友達ではないでしょうか。

来年、我が母校は六十周年の節目を迎えます。また、今年の十一月には三年に一度の同窓会総会が開催されます。足をお運びいただくことで、会員同士の交わりを深める機会になればと思います。これからも「垣を結ぶよう」に同窓会が母校を支え、会員の皆様も母校とともに益々の発展をされますよう、ご祈念申し上げます。

同窓会会報「友垣」は、同窓会員の皆様に母校の現状や状況を知っていただくべく、これからも発刊を続けて参ります。本誌を手に取られ、「友垣」と母校の思い出を語らっていただきたいと思います。皆様からのご寄稿もお待ちしております。

最後になりますが、同窓会報を発刊するにあたりまして、同窓会会長、各支部長、役員の皆様には多大なるご尽力を賜りました。これも一方ならぬ同窓会員皆様のおかげであります。厚く御礼を申し上げます。あとがきとさせていただきます。

学校長 巻口実

六十周年祝賀行事について

本校は、学園創設者である下条恭平先生が「柏崎専門学校」を当時の五百万円を投じ、創設されました。

昭和三十三年、新潟短期大学附属高等学校として誕生してから、来年度で六十周年を迎えます。今日に至るまでには、大幅な改組により、個性伸長のために特色ある学校を目指すとともに、「二十一世紀を展望する新しい学校」として発展してきました。この間、学園創設者である下条恭平先生、地元首長様、同窓会の皆様をはじめとして、多くの方々に支えられて参りました。このことから六十周年を迎えられることに、祝いを催す行事を開催することとしました。同窓会の皆様の絶大なるご支援、ご協力が不可欠です。同窓会三丸となり開催をしていただいたくお願い申し上げます。



「継続は力なり」

母校創立六十周年に寄せて



関東支部長  
曾田 成 則  
(第7回卒業)

関東支部が発足してから、早いものですでに十三年が経過しました。「継続は力なり」の言葉通り、年一回の支部活動が続けてこられたことを心より嬉しく思っているところです。

当初は、マラソンの宇佐美彰明氏、アマチュア野球界の大御所岩井美樹氏、初代内閣広報官宮脇磊介氏、大学バスケットボール界トップ陸川章氏、女子体操界の草分け中村多仁子氏、アジア情勢専門家葉千栄氏などの講演会を中心に活動していました。時には中国音楽古筆・二胡の演奏会や、最近ではデイズニールランド「33」での研修会、スカイツリーお台場バス研修旅行、昨年は特に地元柏崎花火見学及び長野県研修旅行と、多彩な活動展開となっておりです。

ところで、この十三年間は一方では、古里を直撃した二度の地震(中越・中越沖)や、特に3・11の東日本大震災、4・14の熊本地震は、私達のそれぞれの人生の中で、かつて経験したことのない困難に遭遇した出来事であったと言えるでしょう。

そこで、改めて母校創立六十周年に思うことがあります。それは、これからの日本を背負って立つ多くの後輩諸子に対し、同窓会に集う私達卒業生は勿論のこと、母校の教職員の先生方と共に、一丸となつてほしいということです。そして、「待ち受ける未来に夢と希望を持てる社会」に一步でも近づけるよう努力すべ

皆様のご協力で

夢のある創立六十周年を



柏崎支部長  
三井田 誠  
(第23回卒業)

同窓会会員の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より同窓会の活動にもご理解ご理解とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

私このたび、大倉様より引き継ぎ柏崎支部長を、仰せつかりました、第二十三回卒業の三井田誠でございます。

平成二十九年には、創立六十周年を迎える事となりますのでご協力の程よろしくお願いいたします。

地元の柏崎支部でも有り、本部と連携を密にし関東支部・新潟支部・中越支部・上越支部の役員の方々と総会を兼ねて母校のためにも輪をより一層大きく広げていただきたいと思っております。

今母校では、私立高校としての特性を生かしたカリキュラムとして、カレッジコース・スポーツコース・ペイシスコースと自分を生かせる教育環境が整っております。生徒が夢と希望を持ち目標に向かって進んでいる事と思えます。

柏崎支部では先生、PTAの役員の方々を囲み、いろんな事業所や会社からのご協力を得ましてバザーを開き、その金額・品物等を学校・生徒達にと寄付すると言う形をとり、開催

させて頂いております。

母校は、進学にスポーツに就職率と県下に誇れる学校となっております。皆様これからも、よろしくお願いいたします。

創立五十周年から百周年まで



新潟支部長  
長谷川 源 誠  
(第25回卒業)

同窓会の方々、先生の皆様におかれましては、日頃業務の合間に同窓会活動に御尽力頂き心より感謝致します。

新潟支部は、五十周年以後数回の活動を実施しましたが、この数年は実施しておりませんでした。新潟支部では、三十才以下の卒業生が居なく、新潟支部としての存続が難しくこの先、支部会員の維持も難しいと思われます。ですが、この先六十年、七十年、百年と周年式が行われる時には、新潟支部からの会員の参加がされないよう、新潟支部役員の集まる機会を行っていききたいと思えます。

これからの、六十年、七十年そして百周年と式典行事を進めて行くのは、今の二十代と三十代の卒業生の皆様です。同窓会と聞くと、イメージが掴みづらい、同級会の集まりと思つていられる方もおられますが、二十代、三十代の皆様には、新潟産業大学附属高等学校での勉強、部活での技術や上下関係などを学んで、社会へ大学へと進むことでしょう。

三つ年上、三つ年下そして、同級生での上下関係だけでは、言葉遣い、考え方、コミュニケーション、などが世間では、認めてもらえないと思うこともあるでしょう。

社会に出ることは、三十才、四十才、五十才の年上の方とのコミュニケーションを必ず仕事上、ボランティア、地域などでは、いろんな

新役員のご紹介

精一杯がんばります



村山 直 樹  
(第55回卒業)

新たに新潟産業大学付属高等学校同窓会に入会いたしました。第五十五回卒業の村山直樹です。自分に出来ることを精一杯取り組みたいと思えますので、よろしく願ひいたします。

私は昨年、初めて同窓会の役員会に参加いたしました。役員の方々から温かく歓迎され、とてもためになるお話を聞かせていただきました。在校中大変お世話になった先生方とお話することができ、とてもうれしく思いました。その会に出席することが出来なかつた同級生の役員を、次回には私自身から参加を勧めたいと思つた役員会でした。

今後、同窓会が開催される時には、役員として参加者を募りたいと思ひました。まだまだ分からないことが多く、ご迷惑をおかけしてしまうこともあると思いますが、改めてよろしく願ひいたします。

同窓会会報発行にあたり



落合 巴 菜  
(第55回卒業)

私は平成二十七年三月三日に新潟産業大学附属高等学校を卒業しました。そして同窓会委員会に選ばれました。

正直、同窓会委員会に入った時はとても不安でした。何をするんだらう、どんな役割を果たすんだらう。と思う時がありました。

話は変わりますが、卒業してから四月に働き出しました。職業は介護士です。中学三年生からの夢がよ

接し方を求められています。

二十代、三十代、これからの卒業生には、自ら同窓会への活動に参加をして頂きたいと願っております。若い時から年上の方との活動を共にすることで、その活動の流れや人との接し方を感じて、同窓会を一つの研修の場として見てはどうでしょうか。

※紙面の関係上、上越支部(平野支部長)、中越支部(寺尾支部長)の言葉は割愛させていただきます。

同窓会会報の発刊にあたり



柏崎市議会議員  
布施 学  
(第33回卒業)

同窓会会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より同窓会活動に格段のご理解とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

先の統一地方選挙におきまして、先輩後輩諸兄のお力添えをいただきまして、柏崎市議会議員に当選させていただきました第三十三回卒業生の布施学で御座います。

さて、母校を卒業してから教育実習でお世話になって以来、久しぶりに母校に何ったところ学園生徒のスポーツ関連の強さ、知名度、進学率、進学先を見て驚かされました。まさに文武両道であります。これもひとえに巻口校長先生をはじめとして、先生方、PTA役員の皆様、同窓会役員、同窓会会員の皆様のご尽力の賜物だと思っております。心より敬意を表するものであります。

このような素晴らしい母校が益々発展し、同窓会の拡大発展、そして同窓会会員の皆様のご健勝を祈念し、挨拶とさせていただきます。

うやく叶いました。

介護はそう甘い仕事ではないです。

働いて半年が経ち準夜、夜勤が入ってきました。日勤でも大変なのに準夜、夜勤となると大変です。仕事に忙しくて、同窓会に出る機会があまりなくなりましたが、出来るだけ参加したいと思ひます。

今後も良い会にするよう取り組みたいと思ひます。母校のさらなる発展を祈念すると共にこのような節目を迎えられて心から喜びを感じています。

平成二十八年 同窓会本部役員

|      |                     |
|------|---------------------|
| 名誉会長 | 巻 口 実 (校長)          |
| 会 長  | 黒 川 直 人 (十五回)       |
| 副会長  | 笹 川 隆 英 (六回)        |
| 副会長  | 布 施 学 (三十三回)        |
| 副会長  | 長谷川源誠 (二十五回新潟支部長)   |
| 副会長  | 寺 尾 丈 城 (二十五回中越支部長) |
| 副会長  | 三 井 田 誠 (二十三回柏崎支部長) |
| 副会長  | 平 野 政 男 (九回上越支部長)   |
| 副会長  | 曾 田 成 則 (七回関東支部長)   |
| 副会長  | 新 部 直 彦 (六回)        |
| 理 事  | 平 川 稔 (十三回)         |
| 理 事  | 石 塚 佳 史 (十八回)       |
| 理 事  | 伊 部 浩 明 (十八回)       |
| 理 事  | 猪 爪 裕 一 (二十三回)      |
| 理 事  | 酒 井 義 則 (三十六回)      |
| 理 事  | 村 山 直 樹 (五十五回)      |
| 理 事  | 落 合 巴 菜 (五十五回)      |
| 理 事  | 小 池 洋 一 (九回)        |
| 会 計  | 大 倉 等 (十二回)         |
| 会計監査 | 関 矢 等 (教頭)          |
| 教 頭  | 神 林 照 一 (教諭)        |
| 事務局  | 高 桑 暢 平 (教諭)        |
| 事務局  | 高 橋 佑 典 (講師)        |
| 事務局  | 河 内 帆 乃 香 (講師)      |